

# 劣化タイヤ研磨機

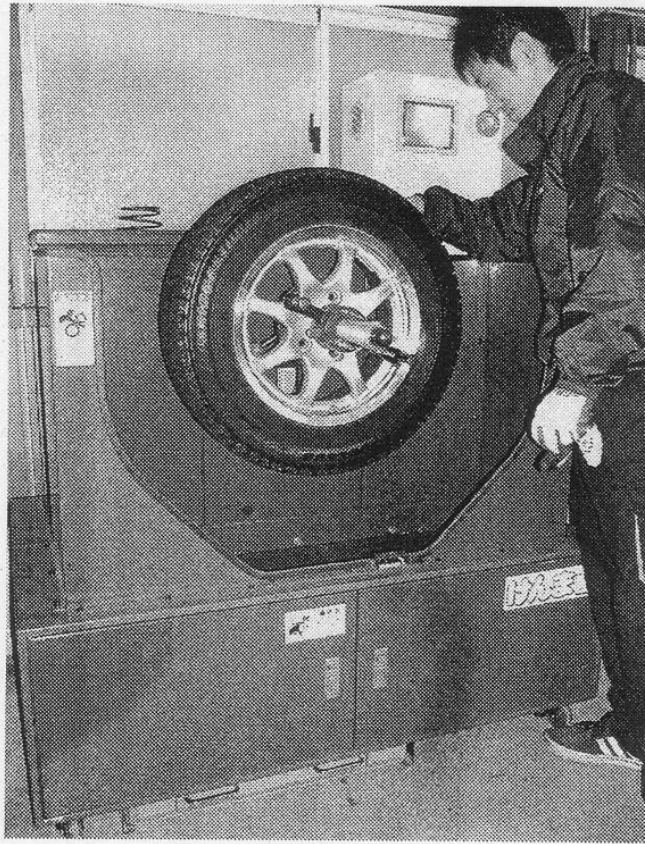
## 旭川にもお目見え

エー・アイ・エスが商品化

旭川市内の機械設計「エー・アイ・エス」(松井隆社長)が昨年商品化したタイヤ表面研磨加工機「けんま君」による研磨が旭川市末広東一のオートレット旭川で二十五日から始まる。先行して機械を稼働させた帯広や釧路では「タイヤの摩擦

力が回復した」と、利用者から評価を受けているという。

けんま君はゴム質が劣化したタイヤの表面を削って表面に細かい凹凸をつけ、グリップ力を回復させる機械。エー・アイ・エスは昨年夏、製造に着手した。



自動車部品店に導入された「けんま君」  
＝オートレット旭川

昨冬にオカモト(帯広)川に貸し出し、モニタ系列の「オートレット旭川」に貸し出し、モニタ系列の「オートレット旭川」に調査をしたところ好評。三台を購入。釧路と帯広

で今月上旬から稼働させ、既に両店で約百二十台分のタイヤを研磨した。「横滑りしにくくなった」「制動力が増した」との声が多いという。

研磨にかかるのはタイヤ脱着を含め約十五分。料金はタイヤ四本で六千三百円(七千三百五十円(脱着料込み)。十二月二十日まではさらに三